家族で読むページ

専門家庭教師の眼 2021 5

受験校の得点、算国これで10点アップ

協力：麻布個人指導会

東京・神奈川の中学入試の本番まで、あと2か月。入試までに残された時間でどんな勉強をすれば合格に近づけるのでしょうか。

麻布個人指導会の2名のベテラン講師に、この時期から算数・国語でそれぞれ10点アップを実現させる勉強のコツを聞きました。アドバイスを役立てて、第一志望校合格にさらに一歩近づきましょう。

算数 過去問演習の意味、再認識で必ず伸びる

富永 恭子（とみなが きょうこ） 講師

麻布個人指導会を代表する理系講師で、お子さんの現状を素早く把握して着実に成績を引き上げる力量を持つ。難関校志望の受験生のみならず、伸び悩んでいるお子さんのフォローも手厚い。

最近の合格実績
桜蔭、女子学院、豊島岡女子、慶応中等部、慶応湘南藤沢、渋谷幕張、浦和明の星女子、青山学院中等部、鷗友学園、頌栄、東洋英和、普連土、横浜共立、横浜雙葉など。

残り2か月ですから過去問に特化してよい時期です。塾に通っている場合には塾の授業と並行して勉強を進めますが、入試本番を見据えた時には勉強の中心は過去問演習になります。

同じ問題は二度と出題されないので過去問をやる意味はありますかとよく質問されます。入試問題はその学校の先生が作るので、その学校のカラーが反映され出題の傾向は大きくは変わりません。それに応えるように過去問をやっていくとだんだん点数が取れるようになります。初めて過去問を解くと点が取れない場合が多いのですが、数年分解いていくと、その問題のスタイルに合ってくるので点が取れるようになります。

●メリハリをつけた過去問演習を

どのくらい解けばいいですかと聞かれますが、受験校全ての過去問を複数回解くのは難しいでしょうから、第3志望までは繰り返し解くようにアドバイスしています。

算数では、よく出るジャンルがそれぞれの学校で比較的決まっている場合が多いと思います。たとえば、速さの問題が出るのか速さと比の問題が出るのか、売買損益の問題はそれほど出ないとか、食塩水の問題は必ず出るとか、出題されるジャンルに繰り返しがみられます。

そこで過去問をやってみていつもこのジャンルの問題は間違えるという場合には、この問題で勝負が決まるくらいに思って徹底して復習してほしいです。

●間違えた問題のみ繰り返す

具体的なやり方ですが、1回目で数年分の過去問をやってたまったら、2回目は1回目にできた問題はとばして間違えた問題だけをやればいいと思います。3回目は少し間をおいて2回目にできなかった問題をやります。

必要な過去問のみ繰り返しやるためには、間違えた問題は解答用紙ではなく問題用紙の問題番号にチェックをしておくことが大事です。問題用紙を見れば今までの正誤の履歴が一目瞭然になります。きちんとチェックしておけば、受験生本人はもちろん保護者の方も家庭教師も弱点がどこなのか共有できます。過去問を解く時間ですが、早くやって後で見直そうというのはあまりお勧めしません。時間いっぱい使ってもいいので丁寧に解いてほしいです。

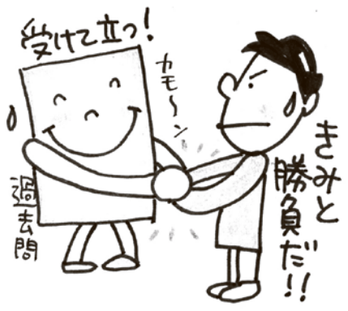
計算ミスを防ぐために計算問題を毎日漫然と繰り返しても、ミスはなかなか減りません。たとえば、逆算が苦手であればそれだけを繰り返して一気にやることをお勧めします。計算問題も集中してやれば自信がつきます。比と割合は速さや図形の相似、その他多くの文章題にかかわってくるので、ぜひ得意分野にして下さい。

図形問題が苦手なお子さんは、自分で図形がかけない場合が多いです。自分が苦手な図形の問題の図をかいて考え方をメモしておくと役に立ちます。時間があれば塾のテキストに戻って確認しますが、時間がない場合には志望校の過去問の中から似たような図形問題を選んでどんどん解いてください。

●最後まであきらめない！

鷗友学園に合格したAさんの弱点は、図形問題でした。文章題は強いのに図形になると基本問題さえすぐにあきらめてしまいます。どこに補助線を引けばいいのか分からずいつも時間切れでした。鷗友学園によく出る相似の問題でも、やみくもに線を引いてしまい時間だけを浪費していました。「ここに線を引いたらこう展開できるので、さらにもう一本引くと答えが見えてくる」と根気よく実践することを繰り返しました。しだいにポイントをつかんだAさんはヒントなしに自ら正確な線を引けるようになりました。コツがつかめると円の転がりや図形の移動、立体と過去問を繰り返すごとに自信がついたようです。

保護者の方には「なんでこんなこと間違えたの」と言う前に、本人になんで間違えたのか考えさせてほしいです。「こんなミスしちゃだめじゃない」とか「これが合っていればよかったのに」と周りの大人は必ず思いますが、本人が自覚しないとミスは減りません。先に保護者の方が指摘するよりも本人に気づかせることが大事です。



国語 言葉の確認、少しの工夫が入試で役立つ

西田 知己（にしだ ともみ） 講師

家庭教師歴26年のベテランで、中学受験の文系教科指導の専門家。経験に裏打ちされた論理的な指導とアドバイスが持ち味で、受験生の得点力を着実に引き上げて志望校へ送り出している。

最近の合格実績
麻布、女子学院、雙葉、駒場東邦、渋谷幕張、海城、芝、攻玉社、学習院女子、頌栄、東洋英和、大妻、普連土、成城、芝浦工大附属、東邦大東邦、市川、昭和秀英など。

この時期になると、ほぼ全員が追い込みで頑張るため、自分だけが大きく飛躍するのはなかなかむずかしくなってきます。それでも、ちょっとしたコツや目の付けどころで10点アップを実現することは可能です。その具体的な方法について、ご説明しましょう。

●ひらがな言葉に注目！

漢字や慣用句の知識については、すでに皆さんも以前から取り組んできたことと思います。ですが、難しい漢字を覚えるとなるとキリがなく、書いて覚えると時間も結構かかります。その意味で、今この時期に集中的に取り組むのをお勧めしたいのが、「ひらがな言葉」です。

たとえば物語文では、登場人物の人間関係を通して心の状態や変化が語られます。その時々の表情や心情などを伝える言葉に、「うしろめたい」「おくゆかしい」「しらじらしい」「もどかしい」などがあります。動詞の表現では「うろたえる」「たたずむ」「つのる」「とがめる」「ひるむ」などが思い当たります。

これらの言葉には、もともと漢字表記がありました。しかしその漢字が難しいため、あるいは小学校の国語で教わる範囲を超えているため、ひらがなで表記するのが一般的になりました。そうなると難しい漢字が読める必要はなくなるわけですが、逆に漢字がないため、あらかじめ知っていないと意味がわかりづらくなってしまいます。

●良い意味か悪い意味か？

実際には文章の流れの中で、だいたいの意味を推測することは可能です。良い意味か、悪い意味かといった程度のことなら、すぐに判断できます。それでも前もって知っていないと、その言葉の前後の読みが慎重になるため、読み進む速度が遅くなりがちです。そうなると一読するのに余計に時間がかかり、問題に取りかかるのも遅くなってしまいます。

漢字なら文字そのものに意味があるため、知らない言葉や熟語でもある程度推測可能ですが、その点でひらがなの言葉は要注意です。書いて覚える必要はないので、この時期に多くのひらがな言葉を押さえておくことをお勧めします。

もう少しレベルの高い言葉には、このほかに「いたたまれない」「おもはゆい」「しおらしい」「すげない」「そつがない」「ふがいない」「ものうい」「やましい」「やるせない」といったものもあります。皆さんは、どのくらい知っているでしょうか。知らない言葉があったら、ぜひ辞書で引いて確認してみてください。

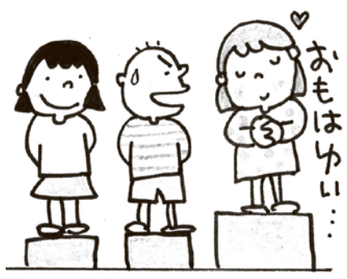
これらの言葉は、物語の本文だけでなく、選択問題の選択肢にも登場します。本文の表現が言い換えられ、その言い換えに用いられるのです。選択問題は基本的に消去法で絞っていくものですが、最後に残った正解の選択肢に知らないひらがな言葉が入っていたりすると、自信をもってそれを選び取ることができません。またしばしば、正解の選択肢に難しい言い換えの言葉が使われていたりします。その判断で迷わないためにも、ひらがな言葉の習得は大変効果的です。

●説明文ではカタカナ言葉

説明文でも単語力が物を言いますが、こちらは漢字の言葉よりもカタカナ表現の確認をお勧めします。たとえば「モラル」「プロセス」「ベテラン」「バロメーター」など、数え上げていくと無数にあります。SNSの発達にともない、ネット用語も知っておく必要があります。でもそのあたりは、今や小学生のほうが詳しいかもしれませんね。

物語文でも説明文でも、専門性の高いカタカナ用語もあります。出題校によっては＊印をつけて、文末の注に解説が入れてあることもあります。それでも、いちいち文末に目を移してページをめくっていると、残り時間がどんどん減っていきます。あらかじめ知っているに越したことはありません。

たとえば友情をテーマにした野球の物語を読むなら、ある程度の野球用語を知っている必要があります。たとえば「ボール」とは球のことだけでなく、「ストライク」に対する「ボール」もあります。またピッチャーとキャッチャーのコンビのことを「バッテリー」といい、この2人を中心にして物語が展開する場面もありますが、その判断で迷わないためにも、ひらがな言葉の習得は大変効果的です。



その際、野球用語の「バッテリー」の知識がなければ「なぜ急に充電の話が？」などと困ってしまいます。

塾の教材や市販の参考書にも、これらのひらがな、カタカナ言葉をまとめて収録したものがあります。時間のある時に、ひとまとめにして覚えてみてはいかがでしょう。最後の最後まで知識を蓄えることを心がけ、なるべく有利な状態で皆さんが本番を迎えることができることを期待しています。

教務の現場から8

●「二月の勝者」になるために…

中学受験を扱ったTVドラマ「二月の勝者」が現在放送中です。毎回細かなエピソードや受験生の心理などリアルな場面もあり楽しんでいます。算数が苦手なクラスの模擬試験で、主演の柳楽優弥演じる塾講師が問題用紙の後半分を破り捨て、前半の4問だけを時間通りの50分で解かせた場面では、いつも20点前後しか取れなかった生徒達に40点以上を取らせ自信とやる気を起こさせます。

「試験では初めから手を付けるのではなく、自分ができる問題をさがしてそこから解く」というのは王道ですが、ドラマでは苦手な受験生がそれをすると「焦りが生まれ、本来解ける問題でもケアレスミスが増え得点できない」としていました。実際の入試で後半の問題全て捨て問とはできませんが、担当生徒の状況を一番把握している家庭教師ならば時には受験の王道を疑ってみることも必要かもしれないと、ふと思いました。

教務：高野

学生は一切派遣していません

創立35年 中学受験の専門家庭教師を派遣いたします

小6受験生へ　追い込みの勉強にお役立て下さい

◆ 冬休み直前 志望校対策コース ◆

【日程】入試までの期間中、ご希望の日時・回数と教科で受講いただけます。
【内容】直前の指導で結果を出してきた専門家庭教師による志望校対策です。
【費用】本コースに入会金（22,000円）は必要ありません。

コース	6時間	10時間	14時間	20時間
指導料	54,450円	87,450円	119,350円	163,900円

※冬休み前からや年末年始の期間の受講もできます。また、オンラインでの受講も可能です。
※上記の指導料は税込です。別途、講師の交通費がかかりますが、その他の費用はありません。
※回数と時間数は上記以外でも可能です。講師を選ぶ際、おおよその時間数のご希望をお聞きいたします。
※本コースに体験授業はありませんが、教務が責任を持って適任の講師を人選いたします。
※初回の授業終了後、予定回数分の指導料をご請求いたします。未消化の分はご返金いたします。

首都圏にお住まいでなくても受講できます！ご相談下さい

○当会には地方の方からのご依頼もあります。指導させていただくのは全員が中学受験の専門家、首都圏で指導中の講師が担当します。
○オンライン指導に対応できる講師が増え、これまでよりも格段にお子さんの現状と家庭のイメージに合った人選が可能となりました。

5年生・4年生へ　新年度2月からの予約も受付中です

◆ 通常コースのご案内 ◆

◎指導料は月ごとの完全な後払いです
●入会金　22,000円（税込）　一家庭無期限有効
●指導料　月額52,800円～79,200円（税込）〈 週1回・各2時間の授業で月4回の場合 〉
※入会金は体験授業でご納得いただいた後のご請求です。　※指導料の範囲は講師の経験・実績によります。

◎体験授業で講師の指導力と相性をご確認下さい
■体験授業は入会が条件ではありません。体験授業で授業内容を判断してご入会の可否をお決め下さい。体験授業の後でも入会を見送ることができます。
■体験授業は担当講師で行います。体験授業だけの講師ではありません。
■指導料、交通費、教材費等一切が無料です。
■体験授業は1時間30分ですが、前後に講師とお話しする時間もお取りいたしますから、合計2時間程度の時間をお考え下さい。
■体験授業、ご入会後の授業ともに、オンライン授業のご希望にも対応しております。
■万一の場合には、別の講師による再度の体験授業を受けられます。

●中学受験専門家庭教師派遣
麻布個人指導会
●固定電話から 0120-14-3004
《受付時間》朝7：30～夜8：00（日・祝除く）※当会は朝7：30より業務を行っております。朝早い時間でも、ぜひご遠慮なくお問い合わせ下さい。
●携帯電話から 03-3440-1940
●HPで最新情報更新中　麻布個人指導会　検索
〒150-0013　東京都渋谷区恵比寿1-13-6-2F